

歩み入るひとにやすらぎを
去り行く人に幸せを

医療法人 西浦会
京阪病院

〒570-0005 守口市八雲中町3丁目13-17
TEL.06-6908-2019
<http://www.nishiurakai.jp/>

ひと・もの・ところをつなぐ地域情報紙

月刊アゴラ



2021年
8月号
vol.373

編集・発行 京阪ジャーナル社
〒573-0065 枚方市出口3-37-12
TEL.072-834-5674
FAX.072-834-5684
HP <http://agora-an.com/>
e-mail office@agora-an.com

発行:月1回/年間購読料:3,000円(送料込)/
1部:200円 口座番号:00940-6-41022/
加入者名:京阪ジャーナル社

配布エリア…枚方市/寝屋川市/門真市/守口市(一部)/四條畷市(一部)/交野市(一部)

【発行部数 60,500部】

INDEX	2・3面 ●毎日がチャレンジ!子どもに失敗はない!! ●コロナ禍で奮闘する酒販店社長。街の灯りを取り戻したい! ●成年後見制度専用窓口 枚方市で開設	4・5面 ●暑中見舞い名刺広告	6・7面 ●妖精物語「白鳥より、なんとと言っても王女が美しい」 ●エレジー・ファイト「覚醒した夏」 ●食卓の風物詩「ズッキーニ」
-------	--	-----------------	--



実ったホップ

「交野を愛する人が集まり、交野で学び、遊びながらまちや人を元気にしていこう」を合言葉に、2013年に発足した交野おひめ大学(安養寺敏彦代表)は自主運営の市民大学。市内外の人が多様な学びを深めている。今年4月に開講した「クラフトビール部」は60人の部員が、市内の私市と神宮寺の畑でビールの原料となるホップ栽培を開始。さらに地元のアローズファームのコロナでイチゴ狩りできなくなった完熟イチゴを買い取り、クラフトビール部

イチゴの甘い香りが最高! 出来立てクラフトビールで乾杯!

「交野を愛する人が集まり、交野で学び、遊びながらまちや人を元気にしていこう」を合言葉に、2013年に発足した交野おひめ大学(安養寺敏彦代表)は自主運営の市民大学。市内外の人が多様な学びを深めている。今年4月に開講した「クラフトビール部」は60人の部員が、市内の私市と神宮寺の畑でビールの原料となるホップ栽培を開始。さらに地元のアローズファームのコロナでイチゴ狩りできなくなった完熟イチゴを買い取り、クラフトビール部

クラフトでクラフト

員がイチゴ果汁にしてたつぷり投入したイチゴビールは、醸造を大阪市北区の中津ブルワリーに委託し、甘いイチゴの香りの爽やかな味わいに仕上がった。

7月24日(土)・25日(日)、交野市内のホップ畑でイチゴビールの試飲とホップ収穫イベントを開催。住民を交えた100人と出来立てのクラフトビール「イチゴエール」を楽しんだ。



ホップを背景に味わうビールは格別!

イベントの参加者は、3か月あまりで高さ5メートルほどに立派に育ったホップから松かさ(※「穂花」はビールの主要な原料で、ビールの香りや苦味、保存性に大きな役割を果たす。)に似た雌花※「穂花」を思い思いに摘み取った。

「クラフトビール部」は、3か月あまりで高さ5メートルほどに立派に育ったホップから松かさ(※「穂花」はビールの主要な原料で、ビールの香りや苦味、保存性に大きな役割を果たす。)に似た雌花※「穂花」を思い思いに摘み取った。

宮寺ぶどうで香り付けした「デラウェアエール」の原料として9月から限定で販売する予定。

収穫後、ブルワリー直送の出来立てクラフトビールを青空の下で試飲した参加者は充実感と共に、「イチゴの甘い香りが素敵」「緑のホップ畑が味わうビールは最高」「とにかく楽しい」と暑さを忘

れクラフトビールの魅力に包まれてのどを潤した。

クラフトビール事業部の勝谷拓朗さん(37歳)は「来春を目標に自分たちの醸造施設をつくって生産まで手掛けた。交野の新たな味覚として広めたい。そのためにもできるだけ多くの人にクラフトビールの楽しさを味わってもらい、寄付募集の準備を進めていきたい」と話している。



収穫をお手伝い

薬膳クラフトコーラで爽やかに地元をつなげよう!

クラフトコーラで地域活性化を目指す人たちがいる。発起人は、交野市でローカルメディア・交野タイムズを運営している一般社団法人コミュニティイーラボの原田和彦(39歳/交野市在住)さん。コロナ禍で自宅時間が増えた原田さんがクラフトコーラを手作りした

のをきつかけに、交野市私市にあるコミュニティイーベース「たねtane」を運営する地元クリエイターの菊川法子さんとともに、地元初のコーラづくりを思い立った。もともと米国でコーラが生み出された当初は、オーガニック食材を使用。コーラというイメージではなく、医薬アイテムでいけば薬膳のカテゴリ。そうなることハーブとも近しいと原田さんは確信し、地域活性化の一助になればと、交野市私市西にある飲食店「ハーブとガレット」にコーラレシピの監修協力を求め、今年3月に「ローカルコーラ」の企画がスタートした。地元愛は、世代を超えて繋がり、立命館大生の若者も参加し、着々とプロジェクトが進んだ。

交野市は、弘法大師空海の降星伝説、七夕伝説ゆかりの地。7月7日、菊川さんがロゴデザインをした「カタノホシノコーラ」はこうして、七夕の日

で、今年の秋以降は地元レモンも使えればと思っ



▲カタノホシノコーラのロゴ

ハーブとガレットの皆さんと、原田さん(左下)、菊川さん(右下)

もの作りを楽しむ学習会(少人数)
「工夫 創作 発明」

講師:枚方テクノカレッジ代表
(元大阪電気通信大学電子機械工学科教員)
詳細など、お気軽にお問い合わせください。
Tel:090-5978-4064(竹本)

今後、ローカルコーラが浸透し需要が高まっていけば、交野市内の休耕地を活用してコーラ材料畑を増やしていきたい。

クラウドファンディングでの資金調達を視野にボトル瓶詰めコーラを企画していきたいと、原田さんの夢はどんどん膨らんでゆく。

(問) ☎090・2064・0407
info@katano-times.com
原田さん

消費税のインボイスが2023年10月から実施される

インボイス制度とは免税事業者からの領収書は仕入れ控除ができなくなる制度だ。

仮に、一人親方の下請けに年間400万円を出しているとする。下請けは免税業者のままなら400万円が課税仕入れにならないから元請は新たに40万円の消費税の負担が増える。たまたまから下請けに課税事業者になれという。すると、下請けは40万円の消費税を払わないといけなくなる。元請が施主に40万円を上乗せすればよいのだが、施主に転嫁できるかどうか。コロナで青息吐息の事業者にならなければならないのか。理屈はどうあれ、せめて、零細事業者の体力を見極めてから制度変更に踏み切ってほしい。

●経済産業大臣認定「経営革新等支援機関」・近畿税理士会成年後見支援センター相談員

税理士法人**京阪総合会計事務所**
枚方 072-805-5252 淀屋橋 06-4792-7845
〒573-1192枚方市西禁野2-4-17第5松葉ビル3階 〒530-0047大阪市北区西天満2-6-8堂島ビルディング701
☐ <https://kskj.jp> ■近畿税理士会所属登録番号(枚方事務所1232/淀屋橋事務所1232-1)

原則20歳から64歳の方が対象

障害年金(公的な年金)が受給できる可能性があります!

対象 病気やケガで生活や仕事などが制限されている方

例 うつ病・統合失調症・人工関節・心臓ペースメーカー・人工肛門・人工透析・常時在宅酸素療法・咽頭摘出術後遺症・がん・HIV感染症・難病など様々な病気やケガ

初回無料相談

TEL 072-846-2560
メール sr@yama-nenkin.com まずはお気軽にお問い合わせください

「仕事と生活」の「不安」を「安心」に変える

障害年金相談のことなら **山口社会保険労務士事務所**
〒573-0032 枚方市岡東町 21-5 HILL EAST201号室 2階(京阪電車「枚方市駅」より徒歩1分)